

P.U.P. News



発行元：進路指導部

冬期講座が始まります

12月23日(水)～28日(月)まで冬期講座が実施されます。センター試験直前の講座となります。高校3年生はもちろん、他学年の生徒も多く受講する予定です。

「受験生」という呼び名は、高校3年生だけに向けられたものではありません。遅かれ早かれ、いずれは皆何らかの受験をしますから、皆が受験生です。そのための備えは早いに越したことはありません。そして最後にカギとなるのは、どれだけ準備に時間をかけられたか、ということになるでしょう。

<中学生の皆さんへ>

- ・勉強に時間を割いた者と割かなかった者との結果は、歴然としています。
- ・「いま、あなたが中学1年生の4月に戻れるとしたら、どうのことをしたいか」を、自分に問い直して、新年の「抱負」を考える冬休みにしましょう。
- ・「授業で習ったことを、家庭学習で確認する」ことを、日々できるようになるにはどう行動すればよいか、この冬休みを考え直す機会にしましょう。

<冬季講座受講者へ>

- ・先輩・後輩同士が学年を超えて共に学習できるのは講座ならではのです。後輩は先輩から学び、また先輩は後輩から良い刺激を受けるチャンスです。
- ・受講を希望したから安心ではありません。受講前・受講後にどう行動するかが重要です。
- ・講座受講中に、解答したり説明を受けたりしたことで終わりではありません。解けた問題・解けなかった問題を、受講後、もう一度同じ時間を設定して「解き直す」ことができはじめて自分のものになります。

自分の力を伸ばすことを「勉強」と呼ぶなら、勉強は我慢ではなく「快感」というものでしょう。想像してみてください。スポーツの対外試合で負けた(たとえ勝っても)後、こうしたらもっと点が入ったのになあ、とその日から研究するはず。バスケットなら、シュートの角度を考えつつ何度も失敗がなくなるまで練習するでしょう。シュートやランニングドリブルが上手くなる快感には代えがたいものがありますね。それと同様に考えれば、勉強も本来は自分を伸ばす「喜び」というものです。スポーツの練習で鍛えた筋肉は、更に次の試合で発揮されます。スポーツも音楽も英語も数学も同じです。

第4回定期試験を終えてすぐ、「解き直し」という練習をくり返す者は、第5回へ向けての筋肉がつかます。次の試験1週間前に、練習再開しようものなら、前回までに蓄えた力(筋肉)はブヨブヨに弱っています。さあ、あなたならどうしますか。

<進路部スタッフより>

センター試験対策 ～残り一ヶ月の勉強法～



【英語】

- ・ Listening: Watch NHK News at 19:00 in English. Try to mimic the translators.
- ・ Pronunciation: Shadow reading, Reading aloud, Review rules. Review vocabulary.
- ・ 長文問題は、演習した後が大事。語彙の意味確認をして熟語、文法項目等も本文から探して確認。しっかりと内容を理解した上で、音読訓練し英語を頭にたたき込む。
- ・ 音読重視の対策を意識することで、飛躍的に点は伸びます。範囲の全てを音に出して読み、確認せよ。一分間に何語の英文を読めるかを計り速読の練習を加えること。
- ・ UP GRADE を完璧に。会話・発音は自分で声に出して覚えること。今までに解いた問題を見直し、意味の分からない単語を別のノートに書き出して覚える。
- ・ 「ユメタン」や「ターゲット4500」のCDによるMY TEST (1日約100問: 8pages)、センターリハーサルや模試に出てきた単語を完璧にし[E→J、J→E]、問題の『超スピード音読』を必ず意味をとりながら1日1回を実行する。

【数学】

- ・センター過去問や過去の全国模試の解法の確認!!
解答時間：解説確認時間 = 60分：40分とし、答えのみ確認するのではなく、しっかりと解法を確認すること。絶対に解きっぱなしにしない。
- ・公式の再確認!! 例題による公式の使い方と公式の成り立ちや意味をしっかりと捉えること。
- ・焦らないこと。

【国語】

- ・残り1か月で得点アップのためには漢文句法を完璧にするのが最も近道!
- ・古文単語・文法であいまいな所を無くしておく!
- ・今までやったことを繰り返して忘れないようにする!

【理科】

生物

- ・過去の問題を解く場合は、平均1問90秒以内で50分で解けるよう必ず意識して行う。
- ・問題文が理解できないときは、解答選択文から読み、何を聞かれているか頭に入れてから解く。
- ・難しいと思ったものや、苦手なものはまずとばし、出来るものから解く。
- ・文中から、実験の様子・条件・変化・順序・結果等を書き入れ頭に状況を浮かべた上で、問題文を解く。
- ・ひっかけの文や、類似用語にまどわされないよう、しっかり基礎用語と説明をまとめる。
- ・生物の各組織名と動くため関わりのある物質名（ホルモンや金属イオン等）を単元ごとに覚える。
- ・怖がらない

化学

- ・理論化学では、化学反応式の量的関係に気を付け、計算パターンを読みとり正確により速く計算できるように練習する。
- ・無機物質、有機化合物の知識を問う問題ではじっくり問題を読み、物質の性質や特徴的な反応から正誤の判断を明確になるように、過去問中心に演習を積む。

物理

- ・過去問・模試などで時間を決めて、解答するスピード力をつける。
- ・問題の解き方として、
「問題文中に、現象を考えるために必要な条件・値に下線を引く」
「作図し、必要な条件を書き入れる。（物理は、力に注目することが大切であるため、力の矢印を書き入れるなど）」
「式を立て、条件の確認をする」
「書いて計算する」

【社会】

- ・苦手な分野（歴史であれば時代等）を再度確認し、克服出来るよう、弱点強化に努めること。

- ・これまでの演習を通してくり返し出題されている問題の復習をする。
- ・世界史においては、「東南アジア」、「イスラム史→中国史」を復習する。文化は資料集に写真があるものは必須。
- ・日本史においては、歴代内閣を整理する。
- ・地理においては、演習で何度も出てきた統計や図表を確認すること。
- ・政経においては、「経済分野」の克服に努めよう。
- ・倫理においては、単語の暗記は教科書、内容理解は資料集の通読を最低3回は読むこと。



自分の「得意」を見つけよう ～中学生へ～



冬休みには、クリスマスやお正月で親戚や大人と話す機会も増えるでしょう。自分の考えや将来のことを、周囲の人に話してみましよう。そして、気持ちも新たに自分の中の「得意」な分野を一つ作り（増やし）、次の学年に進めるようにしましよう。



春の勉強合宿～高校生へ

本校ではすっかり定着した春の勉強合宿がまた来年の3月に実施されます。先週には通知文が配布されています。自分は「いつまでにどんなふうになっていたのか」、そのためには「どういうプランを立てなければいけないか」、じっくりと考えて春を迎えましよう。

1月の予定

8日(金) 河合Kバック[高1・高2・高3]
9日(土) 河合Kバック[高3]、授業[中学生・高1・高2]
16日(土)・17日(日) センター試験
18日(月) 高3自己採点
28日(木) 高2進研記述模試・高1総合学力テスト



